



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	矢内, 純吉; 辻野, 守典; 關, 淳一 他
Citation	makoto. 1993, 81, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85934
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府環境保健部長

矢内 純吉

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

皆様には、ますます御清栄にてよいお年をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

平素より本府の環境保健行政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、昨年も着実に本府施策の推進に努めてまいりましたが、ここに新年を迎え、さらなる展開を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

しかし、本府をとりまく諸情勢は、景気の停滞をはじめ、まことに厳しいものがあり、これに加え府民の行政需要は、その質・量ともますます複雑多様化する傾向にあります。

私ども環境保健部におきましては、ライフサイクルの変化に伴う府民の保健・福祉・医療にまたがる複合的ニーズに対応するため、総合的な地域ケアシステムの構築をすすめるとともに、保健・福祉に関する情報システムの構築、「ハートプラン21」による健康学習の推進を図っているところで

す。また、車社会問題への対策としてノーマイカーデーの実施をはじめ、大気汚染・水質汚濁・騒音等の公害の防止を図り、地球環境の保全と快適な都市環境の形成に努めております。

来るべき21世紀に向けて、安心して暮らせる社会を構築してまいりますために、一層の努力を続ける所存でございますが、私どものみの力では十分ではなく、貴協会をはじめ関係諸団体のご理解とご協力をいただかなければ達成することができません。なにとぞ本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

年頭に当たり皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

謹賀新年



財団法人 大阪防疫協会

理事長 辻野 守典

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は何かと御指導、御鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げますと共に、本年もよろしく御指導賜りますよう御願ひ申し上げます。

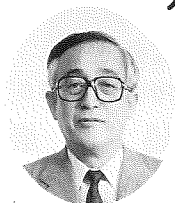
さて、もてもてのきんさん、ぎんさん、昨年で満100才、おめでたいことです。分子生物学の進歩は著しいものがあり、分子遺伝学では、人間の遺伝子分析から、「現代の人間はすべて20万年前にアフリカに生存していた1人の女性を共通の祖先としている」との結果が出た。と物議を醸しています。

ところで、「クモ」は「幾何学的模様の捕虫用の網を作り出したり、投げ縄をやったり、高度な技術を持っている、長い間の改良で生まれたハイテク技術を身にまとっている」。高度な技術を獲得するため、体に比して大きな脳を持つように進化したが、その代償として食道が極端に細くなり、獲物をバリバリと食べる活力を失っているとか。

こんな「クモ」とは一味違って、自然のエネルギーを利用し変らぬ生態を続ける動物達もいます。「ウスバキトンボ」は、南の島々からやって来て、日本列島を縦断し、カムチャッカ半島迄北上するらしい。「ガン、カモ、ハクチョウ」などは、カムチャッカ半島・シベリアと日本列島の1,000~2,000キロを往復し、「キョクアジサシ」は北極と南極の途絶えることのない旅を繰り返しているとか。

際限のない企業競争の中で、地球環境問題への対応が問われている今日、「地球環境への借金を返す」という提言がなされています。その中で「CO₂の環境への排出は、いわば地球環境への負債（借金）であると考えられる」「CO₂を排出して生産する商品・サービスに関しては、売る方と同様買う方にも責任が生ずる」と。2つの異った動物の生態は、人間への問いかけとも受け取れます。「クモ」のようになるのは願ひ下げたいものです。

新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

關 淳 一

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、つつがなく平成5年の新春を迎えられましたことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、本市の環境保健行政をはじめ市政の格段にわたり格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、心と心のふれあう、ぬくもりのある「人間主体のふるさと大阪」、活力あふれ「世界に貢献する大阪」をめざして、一步一步着実に施策を進め、21世紀の大阪づくりに積極的に取り組んでいます。

そのために、人と環境にやさしい花と緑があふれる潤いのあるまちづくりを目標の一つとして、自動車による大気汚染の改善のため、排出ガス規制の一層の強化と低公害車の普及などを積極的に推進しています。また、市民環境学習ルームを設置し、環境学習や実践活動に積極的に取り組んでいけるように相談や指導を行っていきます。

住環境の整備におきましても、近年の個人のライフスタイル等の変化に応じた快適環境の確保が重要となってきており、貴協会の御協力のもと、そ族昆虫駆除事業等のますますの推進を図っております。環境整備における貴協会の豊富な実績は、これら環境衛生行政の推進を図る本市にとりましても大変力強いものでありますので、今後とも、貴協会のなお一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の今後ますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝を祈念し、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市衛生部長

大 保 雅 嘉

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに平成5年の新春をお迎えることと、心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、本市の環境保健行政に格別なご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本市におきましては、21世紀に向かって、「創造し伝統をはぐくむ都市・堺」を基本理念に、「住み」、「働き」、「学び」、「憩う」場としてすぐれた機能をそなえた、うるおいのあるまちづくりに取り組み、現在その一つとして、マリンシティ構想一堺臨海部の活性化・自然回復など快適環境の創造一が実現に向け着々と進行しております。

私ども衛生部におきましても、生活水準や公衆衛生の向上、医療技術の進歩により平均寿命が飛躍的に伸び、人生80年と言われる長寿社会を迎え、生涯にわたって健康で生きがいのある生活を送れるよう、ライフステージに対応した健康の増進、疾病予防など保健・医療サービスの充実をはかるとともに、『堺市民健康生きがいづくり基金』を活用して、市民の自発的な心と体の健康づくりを支援しているところであります。また、保健・医療・福祉の連携をはかった地域支援サービスシステムの整備、CATVなどニューメディアを利用した地域保健医療情報システムの確立をはかるなど、健康先進都市実現に向けて保健・医療サービスの一層の充実を努める所存であります。

こうした環境保健行政の一層の充実にあたり、豊富な知識と実績を有する貴協会には大きな期待を寄せているところであり、なお一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭に心すること



東大阪市保健衛生部長

中西喜代治

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げますと共に、平素は本市の保健衛生行政に格別なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「都市は、そこに住み、働く市民のためにある。」といわれますように、本市では地域に根ざした街づくりをめざし、'91年には「ラグビーのまち東大阪」を表明し、これをテーマにラグビーのもつイメージ「力強さ・連帯性・すがすがしさ」を生かした街づくりを推進しております。

マスコット「トライくん」とともに、ラグーマンあこがれの新装の花園ラグビー場もさらに大屋根が完成し、わが街の大きなシンボルとなっています。

また一方、「自転車距離圏での市民プラザ・行政サービスセンターの利用」という視点でもって、旧三市を受け継いだ3支所制から7つのリージョンセンター制への移行を図っており、第1号センターが昨年11月に開設され、行政サービス網の整備にも着手いたしているところです。

さて、昨年とは振り返りますと、バブル経済の崩壊という社会的情勢があり、改めて実態のないもののモロさを再認識した年ではなかったでしょうか。

今、行政の一端を担っていくうえで思いますことは、実のあるもの本物であることが肝要で、何をしようとしているかが特に近い将来を担う子どもたちにわかるものであることが、キーではないでしょうか。

年頭に際し、「目的・手段をわかりやすく、そして行動すること」を念頭に、これからの高齢化社会に向けての健康づくりにまい進していこうと心新たにしているところです。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝ご活躍を祈念しますと共に、なお一層のご協力をお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



阪急電鉄株式会社

鉄道本部 運輸部管理課 第二係長

高嶋 巖

新年あけましておめでとうございます。

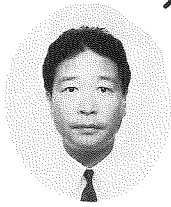
希望と可能性を秘めた新しい年を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

大阪防疫協会の皆様方におかれましては、日頃より当社の駅美化に対しまして格別のご協力を賜りまして、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、私達阪急電鉄に勤務する者にとって昨年度は、非常に意義のある記念すべき1年でありました。ふりかえれば春4月には、鉄道業界注目の中、待望のラガールスルーの実施がありました。既にご承知の方もおられると思いますが、このシステムはカードを直接改集札機に入れていただくことにより、乗降駅、乗降日時、使用残額等をカード裏面に印字、乗車運賃を自動的に引いていくもので、実施以来お客様から非常にご好評をいただいております。また10月には新本社完成、11月には茶屋町アプローチの完成、劇場「飛天」、シアタードラマシティのこけら落とし等、息つくひまもない程次々と各種のプロジェクトの完成を見ました。新年は宝塚大劇場のこけら落としから始まりますが、私達運輸現業に携わる者は、まず日々の地味な努力が不可欠なのはいうまでもありません。安全、正確、迅速は言うに及ばず、今後は益々お客様のニーズも強まり、高品質のサービス、快適さを提供しなければお客様の満足感が生まれません。運輸現業で勤務する全係員が、それぞれの立場でプロとしての職務を自覚し、お客様の立場にたつて努力、サービスすることにより、より完成された鉄道、お客様が満足感をもつ鉄道にならなければならないと思います。

明るくきれいな駅、きれいな車内、親切な係員、本年も皆様方のご協力をいただきながら努力を致したく思います。最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



南海電気鉄道株式会社
鉄道事業本部 運輸部 営業課長

堂 上 久 一

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え皆様方のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

平素は、当社業務に格別なご尽力を賜わりまして誠に有難うございます。厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、鉄道事業本部におきまして、より安全なより快適な輸送を提供すべく、車両面におきましては、イメージアップを図るため、4月にカラーデザインを変更し、7月には1,000系車両を南海線に、11月には11,000系を高野線のビジネス特急車両に導入致しました。また輸送力の増強という面から7月には南海線、11月には高野線のダイヤ改正を実施し、朝夕のラッシュの混雑率を緩和すると共に、特急「サザン」および「りんかん」の導入など通勤特急網の整備・増強を図ってまいりました。また、駅の整備・改善におきましても、沿線の高架工事に併せ、エレベーター、エスカレーターを設置などサービスの向上に努めてまいりました。

本年はいよいよ来年夏の関西国際空港の開港を控え、当社にとっては関連諸プロジェクトをより具体的に推進させていく年であります。空港連絡鉄道線の建設工事のほか、空港特急を柱とする輸送体制の確立や、なんば駅をはじめとするターミナル駅の整備・充実、空港関連事業への取組みなど、さらに地域社会との関係を深めつつ「南の時代」を切り開いていく年であります。

こういった外に向ってより大きく飛躍しなければならぬ時において、やはり我々は、ハード面の整備充実もさることながら、世界に通用する人的サービスの提供が重要であり、より要求されると思われまます。「良い接客」「良い環境づくり」がこれらを支える大きな柱であることは云うまでもありません。そのためにも今後とも「環境づくり」という面からより一層のご尽力、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



関西テレビ放送株式会社
総務局 施設管理部長

井之川 忠一

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を、心からお祈り申し上げます。

さて、新年を迎えてもバブル経済崩壊後の不況は相変わらず深刻で、ほとんどの企業が減収、減益となっており、その後も一向に景気の立ち直りの兆しさえ見えないまゝです。これからはバブル経済のような急激な発展ではなく、安定した、安心して生活の出来る社会に向ってほしいものと思います。

ところで、私共、放送業界に目を向けますと、こちらも不況の影響は深刻で、ほとんど各社が減収、減益となっています。ニューメディアの時代と騒がれるなかで、衛星放送用の受信機は全国で600万台を超えました。しかし、J S B (WOWOW) は昨年8月末で契約世帯数がやっと100万世帯を超えましたが、番組制作等に莫大な費用がかかり、現在、大巾な赤字に苦しんでいます。一方、ハイビジョン放送も試験放送を開始して約1年が経過しました。当初450万円もした受像機の価格も130万円程度に迄下ってきましたが、まだ当分は、急速な普及は無理なようです。しかし、私共関西テレビ放送では東京のフジテレビや系列各社と共に、1997年からBS-4を使用して、ハイビジョンで衛星放送するための新会社を設立し、次の時代に向けて着々と準備を進めています。また、当社は在阪テレビ局の中で常に好視聴率を確保し、平成2年9月から連続して、月間視聴率トップを26ヵ月達成し、現在も記録を更新中です。何かと暗い話題の多い新年ですが、楽しいお役に立つ関西テレビの放送を今年もよろしくお願い致します。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして新年のご挨拶とさせていただきます。